

探究的な学習の充実を図る総合的な学習の時間の実践

—地域素材を活用した探究的な学習の実践例—

新学習指導要領に例示された「地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題」の地域や学校の特色に応じた課題は、児童の生活圏など児童の身近にあるとともに、そのいずれもが、よりよい郷土の創造にかかわる課題である。

そして、子どもたちが、その地域ならではのよさに気づき、問題点を自分のこととして受け止めるとともに、日々の生活の中で自己の生き方とのかかわりで考え続け、よりよい解決を目指して行動することが望まれる。

具体的には、地域の課題を把握し、素材を活用して、相手意識や目的意識をもたせながら活動を進めていくことで、児童に自分たちも地域の一員であるという自覚を促し、今後、自分たちは何をすべきか、どのようにすべきかを考えさせるきっかけにすることが大切である。このことは、総合的な学習の時間の目標である「自己の生き方を考えることができるようにする」ことにもつながる。

【実践例】阿久根市立大川小学校（現在 長島町立川床小学校）池田征史教諭の実践を基に作成

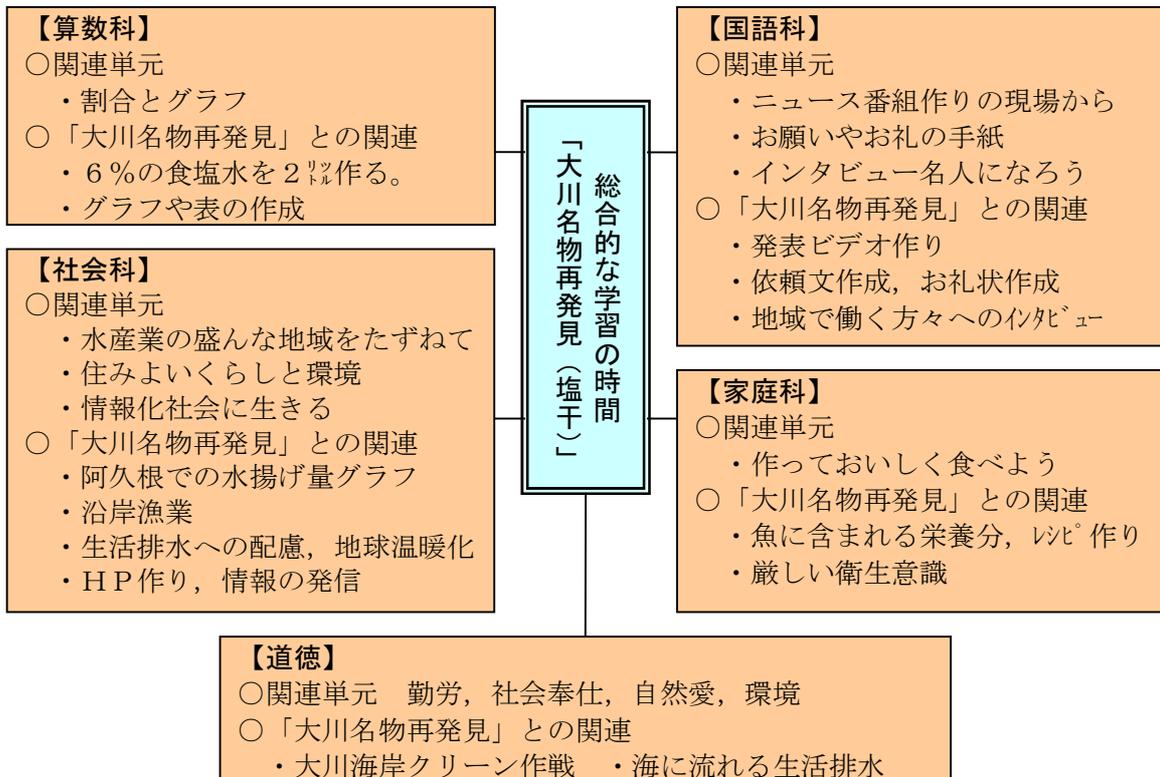
1 単元名 「大川名物再発見（塩干）」（第5・6学年）

2 単元について

(1) 単元の目標

様々な活動や体験を通して、地域の人・自然・特色へ自分なりの思いや願いをもち、その実現に向けて、主体的に追究しながら問題を解決することができる。

(2) 他教科・領域との関連



【カリキュラム開発に向けて】

本実践では、カリキュラム開発に向けて次のような取り組みを行っている。

- 1 職員へのアンケート実施（カリキュラムの課題・地域素材・身に付けてほしい力）
- 2 夏季休業中に職員で校内のフィールドワーク（史跡・文化・自然・産業）を実施
- 3 人材マップの見直し

(3) 指導計画 (全 40 時間)

過程	時間	学習内容	教師の支援 *は素材・教材等
課題の設定	3	1 オリエンテーション ○ 学習課題について話し合い、これからの学習の見通しを立てる。 【実践のポイント1】	・ 学習ガイドブックの活用。活動対象を「塩干」にしぼる。【実践のポイント2】 *学習ガイドブック *学校紹介ビデオ *阿久根市パンフレット
		2 共通体験をする。 ○ 大川産の塩干を観察し、自由なアプローチをする。	・ 実物を数種類、準備する。におい、色、形、味、ラベルなどに着目させる。 *塩干製品
		3 課題を設定する。 ○ 塩干の観察を通して、感じたことや考えたことから、課題を設定する。 ・ 作り方 ・ 作り手の思い ・ 食べ方 ・ 塩干業の実態と課題	・ 課題意識を高めさせるために、個人の考えをワークシートに記録させ、意見を交流する。
		4 活動計画を立てる。 ○ これまでの学習の活動を振り返る。 ○ 解決方法を考え、調べる計画を立て、見通しをもつ。	・ 活動内容が課題解決からそれないように助言する。 *電話 *依頼の手紙 *学習ガイドブック
情報の収集	30	5 課題を追究する。 ○ 工場の見学・取材をする。 ○ 学校で塩干を作る。 ○ 課題を調べる。	・ 見学を行う前に、事前学習をさせておく。 ・ ゲストティーチャーへの依頼と事前の打ち合わせを行う。
整理・分析		6 まとめる ○ グループごとに伝えたいことや発表方法を話し合う。 ○ 調べて分かったこと、考えたことなどを出し合い、構想図を使ってグループ内で共通理解を図る。 ○ 発表準備をする。	・ 教科等との関連を図りながら、発表方法について話し合わせる。 ・ 構想図作成、発表のために必要な取材活動、活動計画などについて助言する。 *パソコン *デジカメ *地図 *ビデオカメラ *タウンページ *ヒントカード 【実践のポイント3】
まとめ・表現	7	7 調べたことを発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 相手に分かりやすい発表をしよう。 ・ 発表のよい点を中心に感想やアドバイスを送ろう。 </div>	・ よいところを中心に相互評価を行う。 ・ 発表を通して、次時の実践化につなげる。 *ビデオ撮影 *ワークシート *評価カード
		8 自分たちでできることを考え、活動する。 ・ 道の駅での広報 ・ 学習発表会での発表 ・ 海岸クリーン作戦 ・ 日常生活の中での意識	・ 活動計画について、無理のないものになるよう助言する。 ・ 情報発信の場を設定する。 *道の駅 *ゴミの分別 【実践のポイント4】
		9 振り返る。 ○ ポートフォリオを基に、自分の活動を振り返る。 ○ ゲストティーチャーに手紙を書く。	・ 活動を通して自分の考えが変化したことを、手紙の中に表現させる。

【実践のポイント1】学習の見通しをもたせる手だて

児童に学習の見通しと活動の軌跡を明確にするために、チャレンジルーム（チャレンジ大川の学習を行う教室）の壁面に学習の足跡を常設している。内容は基本的な学習過程・学習の日付・活動の様子を表す写真・使用したワークシートなどである。前時の活動を振り返ったり、次時の活動を予告したりする際に利用している。

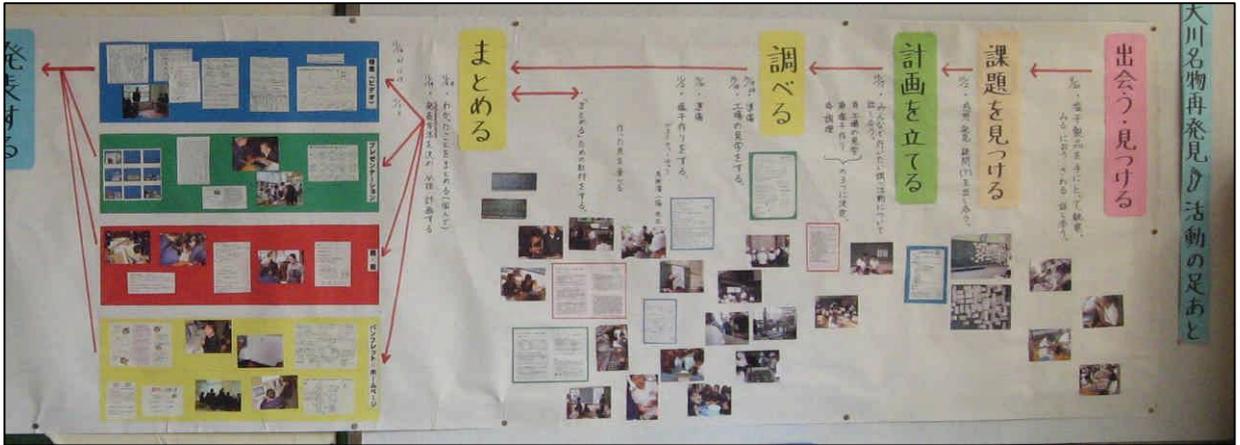


図1 活動の見通しと活動の軌跡を明確にするチャレンジルーム掲示

【実践のポイント2】学習ガイドブックの作成

一人一人の子どもが主体的に学習を進めるために、また、スキルを確認し確実に身に付け実践していくための手だてとして学習ガイドブックを作成している。

もくじ	
1	チャレンジ大川って? 1
2	チャレンジ大川の進め方は? 2
3	調べよう
	一覧表 3
(1)	出かけて調べよう(フィールドワーク) 4
(2)	インタビューをしよう 5
(3)	電話をかけよう 6
(4)	手紙やファックスをしよう 7・8
(5)	図書館・図書室に行こう 9
(6)	インターネットで調べよう 10
4	まとめよう
	一覧表 11
(1)	新聞 12
(2)	地図 13
(3)	劇 14
(4)	紙芝居 15
(5)	クイズオリエンテーリング 16
(6)	ニュースキャスター 17
(7)	ハビリオン 18
(8)	ジオラマ 19

総合的な学習の時間のねらいと進め方の説明

様々な調べ方について説明

図2 学習ガイドブックの目次
まとめ・表現の仕方について説明

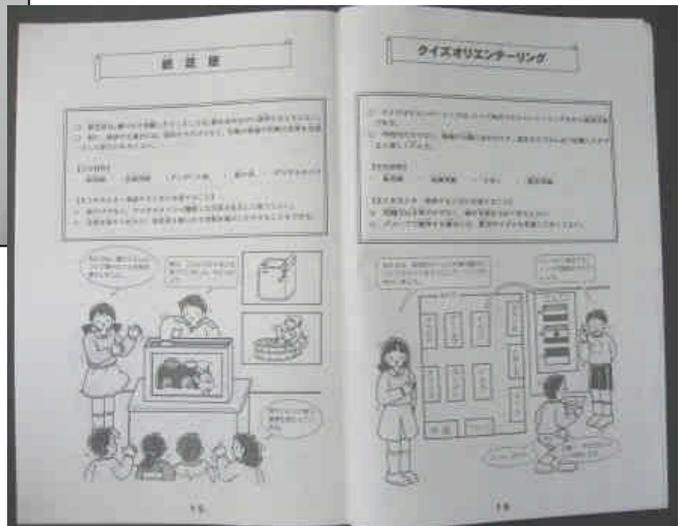


図3 学習ガイドブックの内容

【実践のポイント3】発表方法（まとめ・表現）の工夫

自分たちが伝えたいことをどのような方法でまとめ、表現したら効果的かをこれまで各教科・領域等で学習したことも振り返らせながら、グループで話し合いをさせている。総合的な学習の時間における言語活動の充実を図るためにも大切な学習活動である。

発表方法	伝えたいこと
ビデオ特集	塩干工場の様子・工場の方の思いや考え、お願い
ホームページ・パンフレット	塩干のよさ（栄養・手軽さ・安全性）、お願い
地図・表・グラフ	工場マップ・大川の塩干業の歴史・各工場の比較
プレゼンテーション	塩干の作り方（材料・手順）、作った感想



図4 パソコンによるプレゼンテーションやグラフを使った発表の様子

【実践のポイント5】情報発信の工夫

本実践では、まとめの一つとして、塩干のよさ（栄養・手軽さ・安全性）についてのパンフレットを道の駅（大川小近くの国道沿いにある）に置いてもらうなど、自分たちが調べた情報を発信する場を設けている。

そのことで、地域の課題を自分たちの課題としてとらえ、何らかの形で貢献しようとする意識を高めることができる。



図5 塩干に関するパンフレット